



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 S H O E I
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 田 健 一 郎
(コード番号:7839、東証プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長 山 口 裕 士
TEL 03-5688-5160 (代表)

新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、新たな事業を開始することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 事業開始の趣旨

当社は、過去 30 年来、一部の官需製品を除き、二輪乗車用ヘルメット専門メーカーとして業容を拡大しており、今後ともこの祖業を最重要の事業として強化していく方針に変更はありません。一方、世界中でライダーの高齢化や若者の趣味の多様化が進んでいることも歴然とした事実であり、当社が持続的に成長を続けるためには、二輪乗車用高級ヘルメット事業のみに頼るのではなく、新規事業を開拓することにより、成長を担保すると共に事業リスク分散による安定化を図ることも非常に重要であると認識しております。このため、以前より、当社の間尺にあった、当社らしい新事業があるのかについて検討を進めてきており、2年前に事業多角化の第一弾として BMX（自転車モトクロス）競技用ヘルメット分野へ進出しました。

こうした経緯を踏まえ、今般、本格的な事業多角化として、キャリーケース事業を開始することを決定致しました。キャリーケース事業を選んだ理由は以下となります。

- ① ヘルメットが「生命を守る」一方、キャリーケースは「大切な財産を守る」とコンセプト（安全、機能的、カッコいいを追求する）が類似しています。また、外側のシェル層、内側の内装、様々な部品が装着される構造及び生産方法（成型・組立）が類似しています。
- ② B2C ビジネスに長年従事した SHOEI としては、ブランド価値向上、アフターサービス重視、コンシューマーとの直接アクセスというビジネス手法に慣れています。
- ③ 先進国におけるヘルメット需要は少子高齢化に伴い成熟しつつある一方、キャリーケースは性別年齢を問わず幅広く使用される上、その利便性からショルダーバッグやボストンバッグからの移行が進んでいると言われています。また、先進国以外も含むグローバルでみたキャリーケース市場は、長期的な成長が見込まれています。
- ④ キャリーケースは高いものは 20 万円程度、それ以上のものもあり、高付加価値路線を目指す SHOEI の企業理念に合致します。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

第一号モデルはヘルメットと同じ素材であるガラス繊維強化プラスチック（GFRPⁱ）製シェル、機内持ち込みサイズからスタートします。第一号モデルで学んだ知見を基に、来年中旬に第二号モデルを予定しています。素材についてはGFRPに加えて、先端素材も検討します。

生産は茨城工場を予定しており、ヘルメット同様に Made in Japan、高付加価値路線で勝負します。第一号モデルはMAKUAKEを通じて販売する予定であり、価格は49,000円（税込み）を想定しています。その後は、SHOIE Gallery（ショールーム）を中心に他小売店でも販売を予定しています。

(2) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

キャリーケース用金型や大型プレス機や付帯設備など、3年以内に約10億円の投資を行う予定です。

3. 日 程

(1) 取締役会決議日	2025年11月14日
(2) 事業開始期日	2026年1月頃（予定）

4. 今後の見通し

3年以内に売上高30億円及び営業利益数億円を目標とし、中長期的には当社のヘルメット事業に次ぐ事業に育成することを目指し、その結果、当社の業績向上に資するものと考えております。

本事業による当社2026年9月期連結業績予想に与える影響は軽微であります。今後、適宜開示の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以 上

（参考）当期連結業績予想（2025年11月14日公表分）及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2026年9月期)	33,950百万円	8,370百万円	8,380百万円	5,940百万円
前期連結実績 (2025年9月期)	32,363百万円	8,899百万円	8,900百万円	6,318百万円

ⁱ GFRPはGlass Fiber Reinforced Plastic（ガラス繊維強化プラスチック）の略。